

## 東伯総合運動公園・赤碕総合運動公園改修事業に伴うワークショップ

### 第1回 「運動公園の未来を一緒に考えましょう！」

日時：2022年（令和4年）9月10日（土） 13:30～15:30

場所：琴浦町役場本庁舎2階 防災会議室

参加者：12名

#### 1. 事業説明及び、ワークショップ開催の主旨

#### 2. ワークショップ

テーマ：運動公園の未来を一緒に考えましょう！

ファシリテーター：大阪大学大学院工学研究科 特任助教 辻 寛 様

##### (1) ワークショップの方法と注意事項について

ワークショップの基本的な方法と注意事項についてファシリテーターより説明。

その後、グループ内で自己紹介（アイスブレイク）を行った後、2つの総合運動公園にある施設の洗い出しを行う。その目的は、それぞれの運動公園そのものとそこにある施設を把握すること。

##### (2) ファシリテーターによる事例紹介

官民連携と市民参画について、簡単に説明を行い、国内にある総合運動公園の事例をいくつか紹介する。



WSの方法・注意事項説明の様子

#### 3. グループディスカッション

テーマ：①2つの総合運動公園全般と既存施設についての長所・短所の抽出

②新たな施設のアイデア

運動公園のハード面に関する2つのテーマについて約45分のディスカッション

#### 4. 発表

<グループ1>

長所：ロケーションが良い。屋外ステージがある（赤碕）。平岩記念館（東伯）。フリースペースが充実している。

課題：テニスコート、屋外ステージに隣接する駐車場が少ない（赤碕）。体育館の修理が必要。サッカー場が使いにくい。中央広場・中央園路（階段スペース）の有効活用（東

伯)。テニスコートの修繕（東伯）。予約に関して（システムの改善と予約期間の延長）※予約期間については、周辺地域に波及するイベントの開催を企画しても、予約期間が短く、かつ抽選になるため、在外者のブッキングができずイベントを企画することができない。町民の利用だけを想定していると思われるため、イベントの企画・誘致をし、町外からの訪問者を迎えることができない。

アイデア：町の地域おこし協力隊の一人がサウナの世界大会で優勝するなど、町内に素晴らしい人材がいる。彼らと協力し、

「サウナの聖地」をいち早く宣言することで、町のブランディングをすることができる。

予約システムを改善し、町民だけでなく、町外から人を呼び込むことができるよう、また、アイデアを話し合う場（機会）やそれを実践することができる仕組みを役場にも町民の中にも作ることが望まれる。



WSの様子

#### <グループ2>

長所：天然芝生、何にでも使用可、駐車場が近い（東伯サッカー場）、アリーナが使用可（東伯テニスコート）、人工／オムニコート（赤碕テニスコート）、トイレ、駐車場が隣接（どんぐりひろば）、窓が多いので換気が良好（アリーナ）

課題：日陰・照明がない、座席が破損、倉庫が遠い、ゴール設置（移動が必要）、芝生の手入れ不足、自由に入れにくい（東伯サッカー場）、照明不備、コート状態、トイレが遠い（テニスコート）、室内空調不備（武道館）、バリアフリー設備がない、施設の老朽化、大会開催に相応しくない（アリーナ）

アイデア：サッカー場近くの駐車場を整備、屋外ステージ（赤碕）の活用、中央園路（階段スペース）を利用してステージ発表ができるようにする（東伯）、平岩記念館に合宿を招致、ヘリコプターの緊急離発着陸場を野球場とサッカー場の両方を指定し臨機応変に活用する（東伯）

予約システムを改善し、使用可能時間、日を増やす。当日利用もできるようにする。

<グループ3>

長所：子供たちの利用が盛ん（どんぐりひろば・子ども広場）、トレーニング機器が充実（東伯アリーナ）、希少性のある東伯産芝生のサッカー場、駐車場からの利便性が良い（サッカー場）、両運動公園に野球場がある、  
課題：駐車場が狭く、立地が不便（赤碕）、冬期使用不可、設備の状態が悪い、ナイター設備がない（サッカー場）、施設の老朽化（野球場）



WSの様子

アイデア：食事・休憩スペースの開設、宿

泊・合宿施設（平岩記念館）、多目的に活用できる屋根付き施設（フットサルコート、テニスコート）、ゴルフ練習場、グランドゴルフ・パークゴルフ施設、室内プール、温浴施設、樹木整備（桜並木）、アウトドア施設（BBQ 広場）

<グループ4>

長所：野球場の設備（赤碕）、自然を活用して遊べるどんぐりひろば、トレーニング機器が充実（東伯アリーナ）、クルマが止めやすい、山陰道に近く県外からのアクセスも良い、県中央部に位置する

課題：野球場のアクセスが良くない（赤碕）、サッカー場の状態が良くない（ナイター設備、芝の状態）、サッカー場の利用期間が限定される（降雨雪時、芝養生時の使用不可）

アイデア：野球場の多目的化（アーチェリー、星の鑑賞会など）、サッカー場を人工芝化し他目的に利用できるようにする、多目的グラウンドの多目的化（大型テント設置：林間スクール、自然体験基地）、どんぐり公園に芝生広場を整備、雨天時に子どもが遊ぶことができる場所としてのアリーナ、平岩記念館を合宿施設にする

5. まとめ

施設を頻繁に利用しているからこそ出てくる地元利用者の意見が多く見られた。また、それぞれの施設について、スポーツ以外の視点でも施設のアイデアが出ていた。

町内在住者のみではなく、外部から利用者呼び込むアイデアもあった。今回のテーマは主に施設そのもの（ハード面）だったが、次回のワークショップでは現在の施設、または新しい施設の活用方法（ソフト面）についてディスカッションする予定としている。

東伯総合公園・赤碕総合運動公園改修事業に伴うワークショップ

